

築上町ワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルス感染症をはじめ、人と動物双方に感染する「人獣共通感染症」は、人の感染症の約60%を占めると言われています。人獣共通感染症は、人口増加、森林開発や農地化等の土地利用の変化、これに伴う生態系の劣化や気候変動等によって人と動物との関係性が変化したために、もともと野生動物が持っていた病原体が様々なプロセスを経て人にも感染するようになったとされています。

このように、様々な分野にまたがる問題が要因とされている人獣共通感染症に対応するには「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」と考えるワンヘルスの理念に基づく総合的な取組が重要です。

福岡県では、全国に先駆けて「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの基本方針や行動計画を策定しました。

“自然と歴史・文化を育む”一心と体の健康を求めた「豊かな生活の場」づくりを将来像として定める築上町においても、私達一人一人が強い危機感を持ち、これまで新型コロナウイルスや鳥インフルエンザなどの人獣共通感染症対策、生物多様性の保全、ごみ減量対策、食育、地産地消など様々な分野でワンヘルスにつながる取組を進めてきました。今後は、福岡県と連携しながらワンヘルス実践を着実に進め、未来への責任を果たすべく、「次世代につなぐ人と動物の健康及び健全な環境が調和した社会」を目指し、ワンヘルスを推進することをここに宣言します。

- 一、福岡県ワンヘルス推進行動計画に基づき、福岡県の取組に連携・協力し、ワンヘルス実践施策を推進します。
- 一、町民へのワンヘルスの周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し必要な支援を行います。

令和 5 年 12 月 / 日

築上町長 新川 久三